

[2024年11月28日開催]

<サロン事務局>

### 第3回革新的製品創出サロン（開催後記）

「2024年度第3回サロンを11月28日に開催。自立と共生の統一テーマのもとに、講演2件、開放特許関連の情報提供1件を予定通り実施し、その後ワンコイン交流会を開催し閉会した。

#### ★講演1. 「<弱いロボット>研究のめざすもの

##### ～コンヴィヴィアリティのためのHRIデザイン～

講師：豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 岡田 美智男氏

・従来から家電等のモノづくりの分野では、ロボットにもっともっと便利な機能、運転、福祉、介護等を求めてきた。その結果として便利さを享受してきたわけだが、相手の主体性や自立性、創造性を奪ってしまうことがしばしば発生していた。

・それに対し、弱いロボットではゆるく依存しあった関係であり、右図のハサミ（強さ）とひとの手（柔らかさ）のように、互いの弱さを補いつつ、その強みを引き出しあう関係が構築されるのが特長である。

・例えばAIの利活用の観点では「将棋の藤井聡太七冠は弱いロボットのなアプローチを実践しており、AI将棋の知見を自分なりに消化し、自分に合った形で再構築し、自らの強みを活かしている。」と、生成AIはコメントする。

・本技術のメリットは今までにない気づきが基盤強化の一助となる事を期待。



<弱いロボット ニコボ>

#### ★講演2. 「身近な眼の病気：白内障と緑内障」

講師：医療法人 安間眼科 院長 安間 哲史氏

・人間が五感で得られる情報のうち80～90%を占めるのが目からの情報といわれる。典型的な眼の病気として2件、

① 水晶体が混濁する白内障と、②眼圧によって視神経障害にいたる緑内障を取り上げ、曾野綾子氏、きんさん・ぎんさん、モネーの例も交え平易に解説いただいた。

・参加者の年齢が高いことによる関心の高さもあり、質問も相次いだ。究極のアドバイスは以下である。

「眼科検診を受けましょう！眼底検査で早期発見を。」



	水晶体混濁所見率
50歳代	37～54%
60歳代	66～83%
70歳代	84～97%
80歳以上	100%

<クロード＝モネー 80余歳で白内障手術>

70歳以上の30%以上が白内障の手術が必要であるか白内障手術の術後である。

(眼科学第2版, 2011)

#### ★情報提供「開放特許マッチング月間2025のお知らせ」

発表：公益財団法人あいち産業振興機構 新事業支援部 特許活用リサーチャー 福田 雄一氏

・開放特許を使う下記4つのメリットと同財団による無料支援の概要につき説明あり。

①新商品開発のアイデア探索、②開発コストの削減、③模倣品の排除、④自社知名度の向上

#### ★ワンコイン交流会(ネットワーキング)

・最後にワンコインのネットワーキング交流会を開催し、各社のトピックスを2分間以内でショートプレゼン。マルワイの矢野社長様からは台湾交流訪問の結果報告で少し長めのプレゼンを頂戴し、予定通り閉会した。

以上